

和十五年八月  
華中連絡部調査機關調査速報第三十號

行政院公報抄（邦譯）民國二十九年六月第二期

興亞院華中連絡部

はしがき

- 一 本輯の名稱を華中連絡部調査機關調査速報と稱す
- 一 本速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、湖北省の各省公報及南京、上海兩特別市公報の邦譯を掲載す
- 一 本速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を輯録する方針なるも特に速報するの價值僅少と認めらるるもの（例へば各官廳の處務規程の如きもの）は翻譯を省略し單に其の表題を掲載するに止めた又訓令以下は重要なるもののみを摘録することにした
- 一 本速報は元來調査報告シリーズとして編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認めらるる爲速報とすることにした
- 一 本速報は華中連絡部調査機關政務調査室の翻譯、編輯に係るものである

興亞院華中連絡部調査機關



二十九年高等文官考試條例

（民國二十九年五月三十日國民政府三三出シ指令ヲ受ケ登錄ス）

第一條 高等文官試験ハ特別ノ規定アルモノヲ除ク外ハ本條例ノ規定ニ依リ之ヲ行フ

第二條 中華民國ノ國民ニシテ左記ノ資格ノ一ヲ有スルモノハ高等文官試験ヲ受クルコトヲ得

- 一 公立又ハ認可済ノ私立大學獨立學院或ハ專門學校ヲ卒業シ證書ヲ有スルモノ
- 二 教育部ノ承認シタル外國ノ大學獨立學院又ハ專門學校ヲ卒業シ證書ヲ有スル者
- 三 會テ各機關ノ委任官又ハ委任相當職務ニ三年以上勤務經歴者及薦任ニ相當職務經歴者ニシテ證明書ヲ有スル者
- 四 會テ高等文官試験ヲ受驗シ得ルモノト同類ノ專業ノ職務ニ...

三年以上勤務シ證明書ヲ有スル者

五 委任官又ハ委任相當職務ニ現任シ成績優良ニシテ該機關ノ保證推薦アル者

第三條 左記各項ノ事情アル者ハ受驗スルコトヲ得ズ

- 一 公費ヲ濫費サレタル者
- 二 公金ヲ費消シタル者
- 三 收賄ニヨリ處罰セラレタル者
- 四 鴉片吸飲又ハ其ノ他不良ナル嗜好ヲ有スル者
- 第五條 高等文官試験ハ臨時政府所在地ニ於テ行フ
- 第六條 高等文官試験ハ第一試験第二試験第三試験ニ分チ第一試験ハ筆記試験第二試験ハ口述試問トス第一試験ニ不合格ノ者ハ第二試験ヲ受クル事ヲ得ズ第二試験ニ不合格ノ者ハ第三試験ヲ受クルコトヲ得ズ

前項ノ試験ハ中國文學ヲ使用セシム但シ技術專門ノ各學科ノ試

驗ニ必要ナルトキハ外國文學ヲ使用スルコトヲ得

第六條 高等文官試験ノ分類分科及受験科目ハ別ニ附表ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 試験施行ニ當リテハ試験委員會及試験事務處ヲ組織ス其ノ組織條例ハ別ニ之ヲ定ム

第八條 試験施行ニ當リテハ各機關ノ人員ヲ徵用シ試験事務ヲ處理セシムルコトヲ得

第九條 試験合格者ニハ行政委員會ヨリ證書ヲ發給ス其ノ任用辦法ハ別ニ之ヲ定ム

第十條 受験者ニシテ受験ニ關シ不正行爲アリタルトキ又ハ試験規則ニ違反シタルトキハ受験ヲ停止セシムベシ  
試験合格者ニシテ第三條記載各項ノ事情ノ一ヲ有スルコト或ハ各義詐稱又ハ關節(試験官ガ受験者ト結託シテ其ノ登案ニ記録ヲ印シオクコト)シタルコト事後ニ發覺シタルトキハ行政委員會ハ其

ノ資格ヲ取消スベシ

第十一條 本條例施行細則ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條 本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附二十九年高等文官試験文類分科表

第一類 普通行政人員

第二類 衛生行政人員

第三類 建設人員ノ分科左ノ如シ

- 一 農業科
- 二 森林科
- 三 水産科
- 四 土木工程科
- 五 建築工程科
- 六 機械工程科



- 七 電機工程科
- 八 化学工程科
- 九 鑛冶工程科
- 十 紡織工程科

附二十九年高等文官試験試験科目表

普通行政人員

甲 第一試験ノ科目次ノ如シ

- 一 國文(論文及公文)
- 二 中國歴史
- 三 中國地理
- 四 政府組織法
- 五 政治學

乙 第二試験ノ科目次ノ如シ

子 必須科目

- 一 行政法
- 二 民法
- 三 刑法
- 四 地方自治法規
- 五 經濟學

丑 選擇科目

- 一 勞働法規
- 二 國際公報
- 三 各國政治制度
- 四 財政學
- 五 經濟政策

以上選擇科目中ヨリ任意ニ其ノ一ヲ選擇セシム



丙 第三試験ハ受験者ノ第二試験ノ必須科目及其ノ經驗ニ就イテ  
口答試問ス

衛生行政人員

甲 第一試験ノ科目次ノ如シ

一 國文(論文及公文)

二 中國歴史

三 中國地理

四 衛生法規

乙 第二試験ノ科目次ノ如シ

子 必須科目

一 生理學

二 病理學

三 衛生學

四 公共衛生學

五 細菌學及免疫學

六 傳染病學

丑 選擇科目

一 生命統計學

二 衛生工程學

三 衛生教育學

四 學校衛生學

五 職業衛生學

六 衛生化學

丙 以上選擇科目中ヨリ任意ニ其ノ一ヲ選擇セシム  
第三試験ハ受験者ノ第二試験ノ必須科目及其ノ經驗ニ就イ  
テ口答試問ス



建設人員 建設人員ノ試験ハ左記ノ各科ニ分ツ

- 一 農業科
  - 二 森林科
  - 三 水産科
  - 四 土木工程科
  - 五 建築工程科
  - 六 機械工程科
  - 七 電機工程科
  - 八 化學工程科
  - 九 鑛冶工程科
  - 十 紡織工程科
- 甲 各分科ノ第一試験科目次ノ如シ
- 一 國文(論文)
  - 二 中國歴史

- 三 中國地理
  - 四 普通數學
- 乙 各文科ノ第二試験ノ科目次ノ如シ
- 一 農業科

- 必須科目
- 作物學 土壤學及肥料學 畜牧學 昆蟲學 農業經濟學
- 選擇科目
- 作物育種學 園藝學 蠶桑學 醫學 植物病理學 農産物製造學 生物榮養化學 農業組合 農村社會學 開墾學 農場管理學 農業工程
- 二 森林科
- 必須科目
- 森林立地學 造林學 測量學 林政學 森林保護學



選擇科目

森林植物學 森林ノ經營管理 治水防砂 森林工學 林木病  
一 蟲害學 森林利用學 林産製造學  
三 水産科

必須科目

水産生物學 水産通論 漁撈概論 養殖概論 製造概論  
選擇科目

漁船及漁具 漁場論 魚學及魚病學 養殖保護 水産化學及  
水産細菌 漁港魚市場論 漁業法規  
四 土木工程科

必須科目

應用力學 測量學 水力學 機造原理 鐵筋コンクリート  
選擇科目

鐵道學 道路學 橋梁學 河海工程 灌溉工程 (上下水道)

都市計畫

五 建築工程科

必須科目

應用力學

建築檢造 (土、石、木、鋼、鋼骨セメント)

選擇科目

建築設計 (平面立視、面、透視) 建築材料室内配置及裝飾

建築史 中國營造法 都市計畫 暖氣及通風

六 機械工程科

必須科目

應用力學

機械學及機械設計 熱工學 (汽機、汽機發動機  
及動力廠) 內燃機電機學 造設學 鋼鐵學 工廠管理

七 電機工程科

必須科目

應用力學

熱工學 直流電機 交流電機



選擇科目

發電廠 送電及配電 電機設計 電話電報 ラヂヲ

八 化學工程科

必須科目

無機化學 有機化學 物理化學 分析化學及實驗(各科ノ選擇試験ニハ相當ノ應用分析材料ヲ支給ス) 化學工程原理及機械

選擇科目

酸アルカリ工業 油肥工業 纖維工業 釀造工業 製革工業 製糖工業 陶磁器工業

九 鐵冶工程科

必須科目

測量學 分析化學 地質學 冶金學 採鐵學

選擇科目

鋼鐵冶金學 各種熔鐵爐構造 燃料鐵床學 採鐵工程 鑛山管理

十 紡織工程科

必須科目

紡織學 織物學 紡織原料 發動機 電工學

選擇科目

紡織機械 工場管理 織物機械 準備機械 織物組織 織物圖案

丙 以上各分科ノ選擇試験科目ハ任意ニ其ノ二科目ヲ選擇セシム 各分科ノ第三試験ハ受験者ノ第二試験ノ必須科目及其ノ經驗ニ就キ口答試験ス



二十九年高等文官考試條例施行細則

（民國二十九年五月三十日國民政府呈出シ指令ヲ受ケ登錄ス）

第一條 高等文官試驗施行細則ニ當ツルニ於テ試驗科目場所及期日試驗事務所ヲ試驗期日二月前ニ公告ス

第二條 高等文官試驗申込期日ハ試驗期日前五十日ヨリ試驗開始十日  
前迄トス

第三條 受験者ハ左記手續ニ依リ期限内ニ申込ムベシ

- 一 願書及履歷書ヲ提出スベシ
  - 二 本條例中所定ノ資格證明書及最近ノ四寸大半身寫眞七枚ヲ提出スベシ
  - 三 保證書ヲ提出スベシ
  - 四 申込費三元ヲ納入スベシ
- 前項第三號保證人ニハ現任ノ薦任以上ノ同郷ノ京官（在京官吏）

又ハ國立大學教授ニ名ヲ以テ爲スベシ

本條例第二條第五號中本機關トハ中央各會部建設總署各省及特別市公署ヲ指稱ス此ノ資格ニ依ル申込者ハ保證書ヲ要セズ

受験者ノ申込ハ通信ヲ以テ爲スベシ

受験者ハ同時ニ二類ノ受験ヲ申込ムコトヲ得ズ

第四條 受験者ハ體格検査證ヲ提出シ試驗事務處ノ審査ヲ受ケ合格シタル後ニ於テ受験スルコトヲ得

第五條 受験者ニシテ本條例第三條列記事項ノ一ニ該當スル者及第十

條第二項ノ名義詐稱替玉或ハ試驗官ト結託セル等ノ事アリ試驗中ニ發見セラレタルトキハ試験ヲ停止シ試験後發見セラレタルトキハ本條例第十條第三項ニ依リ處理スルノ外保證人モ事情ノ輕重ニ依リテ法ニ依リテ懲戒スベシ

第六條 試驗科目表所定ノ各種試験ノ受験科目ハ必要アルトキハ試験委員會ニ於テ之ヲ増減又ハ變更スルコトヲ得



試験委員長事故ニ依リ職務ヲ執行スルコト能ハザルトキハ臨時政府ニ於テ試験委員中ヨリ一人ヲ指定シテ代理セシムルコトヲ得

第四條 試験委員ヲ派遣シ試験事務ヲ處理セシム

第五條 試験監督委員ハ臨時政府ニ於テ高等法院以上ノ檢察官中ヨリ選拔派遣シ試験監督事務ヲ處理セシム

第六條 試験委員長ハ糾明事項ニ付北京特別市警察局長ノ薦任以下ノ警察官ヲ徵用シ拿捕檢察事務ヲ分任セシムルコトヲ得

第七條 左記試験事項ハ試験委員會議決シテ之ヲ行フ

- 一 試験日程ノ決定
- 二 問題ノ標準及採點ノ標準ノ決定
- 三 問題ノ作成及採點ノ區分
- 四 受験者ノ各試験成績ノ審査決定
- 五 番號記入名帳簿ノ開封及番號ノ照合
- 六 合格者ノ發表

七 其ノ他論議ヲ行フベキ事項

第八條 試験委員會開會ノトキハ試験委員長ヲ主席トシ試験事務處處長ヲ列席セシムベシ

第九條 試験委員會ハ試験委員長試験委員試験監督委員就任後成立シ試験終了後解散ス

第十條 試験委員長試験委員試験監督委員ハ試験期間内ハ一切ノ交際ヲ回避スベシ

第十一條 本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二十九年高等文官考試典試規則

(民國二十九年五月卅日國民政府ニ呈出シ指令ヲ受ケ登錄ス)

第一條 高等文官試験ノ試験執行ニ關スル事項ハ別ニ規定アルモノヲ除



第七條 各科目試験日程及試験場ハ試験委員會之ヲ決定シ期日前ニ  
公告ス

第八條 第一試験第二試験第三試験ハ各平均滿六十點ヲ以テ合格ト  
ス前項ノ各試験平均點數以合計ヲ總點數ト爲ス第一試験第二試  
験ハ各四十點ト對シ第三試験ハ二十點トシ總點數ハ八十點以上ノ  
者ヲ最優等トシ七十點以上ノ者ヲ優等トシ六十點以上ノ者ヲ中  
等トス

第九條 試験終了後試験委員會ハ試験採用名簿試験合格答案ヲ不合  
格答案ト共ニ行政委員會ニ送附シ保存セシムベシ其ノ保存年限  
ハ行政委員會之ヲ定ム

第十條 合格證書ヲ發給スルトキハ證書料ヲ徵收スルコトヲ得其ノ  
金額ハ行政委員會之ヲ定ム

第十一條 試験處理人員ニシテ成績優良ナル者ハ獎勵シ職務怠慢又  
ハ違法ノ者ハ懲罰ス

第十二條 本細則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二十九年高等文官考試典試委員會組織條例

(民國二十九年五月卅日國民政府ニ呈出シ指令ヲ受ケ登錄ス)

第一條 本條例ハ高等文官考試條例第七條ノ規定ニ依リ之ヲ制定ス

第二條 試験委員會ハ左記人員ヲ以テ組織ス

- 一 試験委員長
- 二 試験委員
- 三 試験監督委員
- 第三條 試験委員長ヲ特派シ試験事務ヲ總理シ試験委員試験監督委  
員ヲ監督シ試験ニ必要ナル事項ニ關シ試験事務處職員ヲ指揮監  
督セシム



クノ外ハ本規則ニ依リ之ヲ行フ

第二條 試験答案ヲ封入シタル封筒面上ニハ試験種類學科名稱及點數ヲ記入スル場所以外ニハ任意ニ他ノ事項ヲ記載スベカラズ

第三條 受験者ノ姓名及座席番號ヲ答案封筒ノ附箋紙ニ記載スベシ

第四條 答案ニハスベテ姓名ノ上ニ封紙ヲ施シ番號ヲ記載シ番號記入ノ姓名簿ハ封印シテ保存シ番號ヲ照合スルトキニアラザレバ開封スルコトヲ得ズ

第五條 問題ノ標準及採點ノ標準ニ付キ試験前ニ議定スベキ各科目ノ問題ハ可能ナル範圍内ニ於テ實際問題ヲ重ンズベシ

第六條 各科目試験問題ハ各該科目試験ノ日ヨリ十四時間前ニ試験委員更ニ校閲ヲ加ヘ試験委員長ニ密送シ決定スベシ

第七條 試験問題決定後ハ申込人數ニヨリ各封印シ嚴重ニ漏洩ヲ防グベシ封印者ハ封印ノ時ヨリ試験問題ヲ分配スルマデ嚴重ニ保存スベシ

21

第八條 試験委員ハ採點及口答試問ヲ別々ノ組ニ分チテ爲スコトヲ得

22

各組ニハ主任一名ヲ置キ場合ニヨリテハ副主任ヲ置クコトヲ得  
試験委員會ノ推薦決定セル各組主任ハ必要ナルトキハ本組會議並ニ聯組會議ヲ開催スルコトヲ得

第九條 各一科目ノ試験終了シタルトキハ直チニ分配シテ採點ヲ爲スベシ試験委員長ハ組主任ガ採點ニ關シ討論ヲ必要ト認メタルトキハ會議ヲ開キ討論スルコトヲ得

第十條 各試験答案ハ試験費ガ校閲採點シ私印ヲ捺印シタル後試験委員長ニ封送スベシ  
試験委員長ハ必要ナルトキハ答案ヲ開閱シ又ハ點數ヲ修正スルコトヲ得但シ試験委員會開會ノ時其ノ報告ヲ爲スベシ

第十一條 答案採點終了後ハ答案上ノ姓名ノ上ニ貼附シテ番號ヲ記入シタル紙ヲ開封シ番號ニ依リ答案ヲ集メ平均點數ヲ計算シ試験委員會ヲ開催シ之ヲ審査決定スベシ



第十一條 考案採點終了後了後ハ答案上ノ姓名ノ  
第十二條 試験合格者ノ答案ハ試験委員長及試験委員試験監督委員ト  
立會ノ上番號記入名簿ヲ開封シテ番號ト照合シ必要事項ヲ記入シ  
之ヲ發表スベシ

第十三條 試験各科目ノ總數ノ計算完了後試験委員長試験委員ハ試験  
監督委員立會ノ下ニ受験者總成績審査會ヲ開キ總點數ノ順序ニ依  
リ合格者ヲ發表スベシ

第十四條 試験合格者ノ發表ハ官印ヲ押捺シ年月日ヲ明確ニ記載シ試  
験委員長ニ於テ署名ノ上公布ス

第十五條 試験答案ハ試験完了後ニ非ザレバ外部ニ持出スコトヲ得ズ

第十六條 試験委員會ハ試験合格者ノ發表後合格者ノ姓名原籍履歴各  
科目點數表ヲ行政委員會ニ送附スベシ

第十七條 本規則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二十九年高等文官考試試監場規則

(民國二十九年五月卅日國民政府ニ呈出シ指令ヲ受ケ登錄ス)

第一條 本規則ハ高等文官考試試務處規程第六條第二項ノ規定ニ依リ  
制定ス

第二條 監視主任及監視員ハ上項ノ規程第六條第一項ノ規定ヲ遵守ス  
ルノ外ハ本規則及試験場規則ニ依リ監視事務ヲ執行スベシ

第三條 監視主任及監視員ハ點呼前ニ試験場ニ出頭服務シ答案提出終  
了後退出スルモノトス

第四條 監視員ハ受験者試験問題ヲ受領シ入場シタル後座席番號順ニ  
着席セシムベシ

第五條 監視員ハ受験者指定席ニ着席シタル後監視主任ノ指定スル位  
置ニテ監視スベシ



第六條 監視員ハ試験問題配附後受験者ノ座席番號寫眞試験問題試験問題封入ノ封筒上ニ貼附シタル附箋ニ記入シタル姓名等ヲ逐次詳細ニ照合シ疑義アルトキハ直ニ監視主任ニ報告スベシ

第七條 監視員ハ受験者ガ舉手シ答案ヲ提出セントスルトキハ直ニ其ノ前ニ行キ答案ヲ受取り更ニ受験者ノ座席番號寫眞試験問題附箋ニ記入シアル姓名等ヲ逐次詳細ニ照合シ疑義無キトキ出場證ヲ渡シ出場セシムベシ

第九條 監視員ガ答案ヲ受領シタルトキハ該試験場擔任組試験委員ト立會ノ下ニ之ヲ處理シ試験問題封入ノ封筒上ノ姓名ヲ記入シタル附箋ヲ除去シ之ヲ帳簿ニ貼付シ受領シタル答案ノ紙數ヲ記入シ試験監督委員ノ點檢ヲ經タル後封印シ數量ヲ明記シ月日ヲ附記シ署名捺印スベシ

第十條 受験者ガ試験場規則各款ニ違反シタルトキハ直ニ制止スベシ其ノ惡質ノモノハ監視員直チニ監視主任ニ報告シ更ニ試験事務

處處長ニ報告シ試験處處長ハ試験監督委員ト協議シ之ヲ處理ス  
第十一條 本規則ハ處務會議ノ議決ヲ經テ許可ノ後之ヲ施行ス

二十九年高等文官考試試場規則

(民國二十九年五月卅日國民政府ニ呈出シ指令ヲ受ケ登錄ス)

- 一 受験者ハ入場券ノ番號順ニ點呼ヲ受ケ順次答案ヲ受領ノ上入場スベシ
- 二 受験者ハ入場後監視員ノ指導ニ從ヒ番號ニ依リ着席シ混亂スベカラズ
- 三 受験者ハ使文具品儀器ノ外ハ紙片及其ノ他ノ物品ヲ携帯スルベカラズ



- 四 受験者ハ試験問題入ノ封筒上ニ貼附シアル附箋ヲ持去ルベカラズ又貼紙ノ下ノ姓名記入欄ニ姓名ヲ記入スベカラズ
- 五 受験者ハ試験問題封入紙ヲ開封スルニ際シ糊付ノ幅以上大キク開封シ或ハ之ヲ切り去ルベカラズ
- 六 受験者ハ試験科目ノ性質ニ依リペン、インクヲ使用スルノ外ハ試験答案ハスベテ毛筆ヲ用ヒ楷書ニテ書クベシ
- 七 受験者ハ試験答案上ニ署名捺印又ハ其ノ他ノ一切ノ標記ヲ附記スルベカラズ
- 八 受験者ハ題意ヲ質問スルベカラズ
- 九 受験者ハ擅ニ座席ヲ離ルベカラズ
- 十 受験者ハ談話スベカラズ
- 十一 受験者ハ聲ヲ出シテ朗讀スベカラズ
- 十二 受験者ハ物品ヲ貸借スベカラズ
- 十三 受験者ハ他人ノ答案ヲ窺ニ見スベカラズ

- 十四 受験者ハ試験場ニテ喫煙スベカラズ
- 十五 受験者ハ試験場内ニテ痰ヲ吐クベカラズ
- 十六 受験者ハ試験上ニテ秩序ヲ亂スベカラズ
- 十七 受験者答案ノ提出時間ヲ過グルモ尙未完了ノモノハ監視員ニ強制提出セシムルコトヲ得
- 十八 受験者答案ヲ提出セントスルトキハ起立シ手ヲ舉グ番號ヲ明確ニ報ジ監視員其ノ前ニ到リ受領スベシ
- 十九 受験者未ダ答案ヲ提出セザルトキハ試験監視委員又ハ監視主任ノ許可アルニ非ザレバ出場スベカラズ
- 二十 受験者ニシテ本規則ニ違反シタル者ハ監視員隨時之ヲ制止シ悪質ナル者ハ直チニ監視主任ニ報告シ更ニ試験事務處處長ニ報告ス同處處長ハ試験監視委員ト協議シ之ヲ處理スベシ



二十九年高等文官考試招考簡章

(民國二十九年卅日國民政府呈出シ指令ヲ受ケ登錄ス)

- 一 受驗資格中華民國國民ニシテ左記資格ノ一ヲ有スル者ハ高等文官試經ニ應ズルコトヲ得
- 1 公立又ハ認可濟私立大學獨立學院或ハ專門學校ヲ卒業シ證書ヲ有スル者
- 2 教育部ノ承認セル外國ノ大學獨立學院又ハ專門學校ヲ卒業シ證書ヲ有スル者
- 3 會テ各機關ノ委任官又ハ夫ニ相當スル職務ニ三年以上勤務シタル者及薦任以上ニ相當スル職務ニ服務シ其ノ證明書ヲ有スル者
- 4 會テ受驗資格アル同種ノ事業ニ三年以上勤務シ證明書ヲ有スル者

スル者

5 現在中央各會部建設總署各省及各特別市公署ノ委任官又ハ夫ニ相當スル職務ニテリ成績優良ニシテ本機關ヲ經テ保證セラレタル者

二 試驗科目別表ヲ參照

三 申込地北京府右街中海運料門内摺華軒高等文官試驗申込所

四 申込期日二十九年三月十一日ヨリ四月二十日迄

五 申込手續各類各科ノ受驗者ハ上記ノ申込期日内ニ本人申込所ニ申込ムカ又ハ通信ニ依リ申込ムベシ申込料ハ各三元

(審査ノ合格如何及試驗ノ合格如何ニ抱ラズ返還セズ)ヲ納入シ履歷書用紙及保證書用紙ヲ受領スベシ

六 保證手續各類各科ノ受驗者ハ書式ニ依リ履歷ヲ履歷書用紙ニ記入シ現任ノ薦任以上ノ同郷ノ京官(欄外註參照ノ譯者)



又ハ現任ノ國立大學教授ニ人ノ署名捺印セル保證書ヲ取揃ヘ  
受験者最近ノ四寸大半身ノ寫眞七枚及卒業證書或ハ其ノ他ノ  
各項證明書ト共ニ本處ニ送附シ領收書ヲ受取ルベシ但シ本試  
驗條例第二條第五項ノ資格ニ依リ各機關ノ保證セルモノハ保  
證書ヲ要セズ

受験者資格證明書ヲ事故ニ依リ遺失シタルトキハ別ニ薦任以  
上ノ同郷ノ京官二人ノ證明書ニ署名捺印シ本處ニ送附シ本處  
ノ検査許可ヲ經タル上之ヲ呈出スベシ  
七 資格審査受験者ノ資格審査ノ結果ハ本處ニ於テ月半、月末ニ  
分チテ揭示通告ス屢々高試ヲ受ケ已ニ審査合格證書ヲ受領シ  
居リ更ニ證書ヲ交附スル必要ナキモノノ外ハ合格セル受験者  
ハ揭示或ハ通告後本人本處ニ來リ二元ヲ納入シテ審査合格證  
書ヲ受領スベシ

- 八 受験者ノ卒業證書又ハ其ノ他ノ證明書ハ受験者ガ試験終了後  
七日以内ニ本所ヨリ交附セル領收書ヲ持參シ本處ニテ受領ス  
ベシ
- 九 體格検査規則ニ依リ本處ニテ検査證ヲ受領シ検査料ヲ納入ス  
ベシ
- 十 入場券ノ受取資格審査及體格検査ニ合格セル受験者ハ試験期  
日十日前ニ自ラ本處ニ來リ入場券代二元ヲ納入シ入場券ヲ受  
取り期日ニ入場券ヲ證トシテ試験問題ヲ受取り入場スベシ
- 十一 試験期日二十九年五月一日ヨリ開始ス其ノ各級各科ノ試験期  
日ハ試験前ニ各規定シ揭示ス
- 十二 試験場所北京中海内懷仁堂
- 十三 合格證書各類ノ試験合格證書ハ發表後一定期日ニ配布ス



官考試應考人資格審査規則

(民國二十九年五月卅日國民政府ニ呈出シ指令ヲ受ケ登錄ス)

- 第二條 受験者ノ資格審査ハ本規則ノ規定ニ依リ場務組審査檢定股之ヲ行フ
- 第三條 文書組申込股ノ接受セル受験者ノ申込書及其ノ他各種ノ文書ハ直チニ場務組審査檢定股ニ送附シ審査セシムベシ
- 第四條 審査股ノ收受セル前條ノ文書ハ直ニ本股各組員ニ分配シ審査スベシ
- 第五條 審査文書不完備ナリト認メタルトキハ直チニ場務組ヲ通ジテ受験者ニ通知シ期限内ニ送附補充セシムベシ
- 第六條 審査文書ニ疑義アリト認メタルトキハ處長ニ書面ヲ以テ申請シ關係機關ノ書類ヲ調査シ其ノ意見ヲ徵シ又ハ臨時ニ專員ヲ招聘シテ之ヲ審査決定セシムルコトヲ得

- 第六條 審査文書ニ面談尋問ノ必要ヲ認メタルトキハ場務組ヲ經テ受験者ニ通知シ一定ノ期日ニ本處ニ於テ面談尋問スルコトヲ得
- 第七條 審査員審査終了後ハ各人ニ對スル審査意見書ヲ揃ヘ場務組組長ニ送附シ其ノ校閲ヲ經タル後處長ニ送呈シ之ガ決定ヲ乞フベシ
- 第八條 審査意見書ハ別ニ之ヲ定ム
- 第九條 審査意見書ハ處長ノ裁定ヲ經タル後期日ニ合格者ノ姓名ヲ區分揭示シ受験者ニ合格證書ヲ交附スベシ但シ既ニ高等試受験合格證書ヲ有スル者ニハ再交附セズ
- 第十條 受験者資格確定後ハ其ノ卒業證書又ハ其ノ他ノ證明書ハ審査檢定係ヨリ申込係ニ移牒保管シ返還ニ備フベシ但シ證書ヲ留置スル必要ヲ認メタルトキハ一時延期スルコトヲ得
- 第十一條 本期則ハ處務會議ノ議決ヲ經許可アリタル後施行ス



二十九年高等文官考試試務處規程

(民國二十九年五月卅日國民政府呈出シ指令ヲ受ケ登錄ス)

第一條 本規程ハ臨時政府高等文官考試條例第七條ノ規程ニ依リ制定ス

第二條 試務處ニハ處長一人組長三人組員助理員(補佐處理員ノ譯註)一錄事(書記ノ譯註)各若干人ヲ置ク

第三條 試務處ニ左記三組ヲ置ク

一 文書組 募集及受験者ノ申込文書ノ選考調製校正收受發送及保管並ニ官署印ノ保管及受験者ノ質疑ニ解答スル等ノ事項ヲ掌ル

二 場務組 受験者ノ受験資格ノ審査體格検査試験問題ニ番號ヲ附スルコト各試験場ヘノ配布及點呼試驗場ニテ貼附スル附屬ノ交附番號記入簿ノ作成番號記入紙ノ開封點呼簿ノ作成試驗

問題ノ調整送附印刷文書ノ保管送附核閱並ニ試験點數ノ計算等ノ事項ヲ掌ル

三 庶務組 金錢出納試驗場配置試驗ニ用フル一切ノ物品ノ處理

人夫警衛ノ指揮監督及其ノ他各組ニ屬セザル事項ヲ掌ル

第四條 處長ハ處務ヲ總理シ所屬職員ヲ監督ス

第五條 各組ノ組長ハ處長ノ命ヲ承ケ各々該組主管事務ヲ掌ル組員助理員等ハ長官ノ命ヲ承ケ所長事務ヲ分割處理ス其ノ事務ノ繁劇ナル組ハ副組長一人ヲ置クコトヲ得亦一人ニテ兩組ノ職務ヲ兼任スルコトヲ得

第六條 監視主任ハ處長ノ命ヲ承ケ各試驗場監視ノ事務ヲ掌ル監視規則ハ別ニ之ヲ定ム

第七條 試務處ノ人員ハ各會部署ノ人員中ヨリ徵用シ手當ヲ支給スベシ但シ必要ノトキニハ臨時ニ其ノ俸給手當ノ増加ヲ爲スコトヲ得



二十九年高等文官考試應考人體格檢驗規則  
附受驗者体格檢查證樣式

(民國二十九年五月三十日國民政府呈出シ指令ヲ受ケ登錄ス)

- 第一條 受驗者ノ體格ハ臨時政府高等文官考試試務處規程第三條第二款ノ規定依リ試務處場務組検査ヲ行フ
- 第二條 場務組ノ管掌體格検査事務ハ國立又ハ公立醫院ニ委託シ處理セシム
- 第三條 受驗者ハ體格検査料二元ヲ納入シ検査證ヲ受取り本處ノ委託セル醫療機關ニ於テ検査ヲ受クベシ
- 第四條 委託ヲ受ケタル醫療機關ハ検査證ニ照シ各項ヲ責任ヲ以テ検査シ署名捺印ノ上受驗者ニ交附シ受驗者ハ再調査ノ爲本處ニ提出スベシ

第五條 受驗者ノ體格検査ニ左記ノ疾病ノ一アルヲ發見シタルトキハ不合格ト爲ス

- 一 急性傳染病
  - 二 精神病
  - 三 不具(服務不可能ナルモノ)
  - 四 鴉片又ハ其ノ他ノ各種毒品ノ吸食
- 第六條 検査合格者ハ本處之ヲ發表シタル後試験委員會ニ報告シ入場券ヲ交附ス

第七條 本規則ハ處務會議ノ議決ヲ經テ許可ヲ經タル後之ヲ施行ス



其ノ報酬ハ別ニ之ヲ定ム  
第八條 試務處辦事細則ハ試務處別ニ之ヲ定ム  
第九條 試務處ハ試驗期日ヨリ二月前ニ設立シ試驗事務終了後廢止ス  
第十條 本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二十九年高等考試試務處辦事細則

(民國二十九年五月卅日國民政府ニ呈出シ指令ヲ受ケ登錄ス)

第一條 本細則ハ高等文官考試試務處規程第八條ノ規定ニ依リ制定ス  
第二條 本處ノ各職員ハ本細則ノ規定ニ依リ職務ヲ執行スベシ  
第三條 本處ノ各組ハ事務ノ性質ニ依リ股ヲ設ケ事務ヲ處理セシムル  
コトヲ得各股ニハ股長一人ヲ置キ長官ノ命ヲ承ケテ各股ノ事務ヲ

分掌セシム

第四條 各股ノ組員助理員錄事(書記ノ兼)ノ人數ノ分配ハ處長事務  
ノ繁簡ニ依リ之ヲ定ム

第五條 一組又ハ一股ノ事務特別繁忙ノトキハ他組又ハ他股ノ人員ヲ  
派シ協同辦理セシムルコトヲ得

第六條 文書組ニ文書報名(申込)兩股ヲ設ク

甲 文書股ノ職務左ノ如シ

- 一 募集新聞廣告等ニ關スル事項
- 二 文書ノ撰考起草ニ關スル事項
- 三 文書ノ收受發送分配及配列ニ關スル事項
- 四 官署印章ノ保管ニ關スル事項
- 五 職員ノ任免及考勤(勤惰)ヲ調ブニ關スル事項
- 六 會議ノ記錄ニ關スル事項

乙 報名股ノ職務左ノ如シ



- 一 申込ニ關スル事項
  - 二 受験者ノ問合セノ答解ニ關スル事項
  - 三 收受セル證明文書類ノ保管ニ關スル事項
- 第七條 場務組ニ審檢、試券（試験答案）分場三股ヲ設ク

甲 審檢股ノ職務左ノ如シ

- 一 各文書ノ分類、記録ニ關スル事項
- 二 印鑑通信ニヨリ接受シ並ビニ學歴現歴ノ記入ニ關スル事項
- 三 過去ノ檢定資格審査資格ノ審査ニ關スル事項
- 四 證書及保證書ノ審査ニ關スル事項
- 五 證書ノ調査問合セ及補充提出ニ關スル事項
- 六 審査合格證書ノ發給ニ關スル事項
- 七 體格検査ノ実施ニ關スル事項
- 八 卒業合格ノ入場券ノ發給ニ關スル事項

乙 試券股ノ職務左ノ如シ

- 一 名簿座席番號簿ノ作成ニ關スル事項
  - 二 浮籤（註）答案紙上ニ貼附シ姓名番號ヲ記入スル紙）ニ姓名番號ノ記入及捺印ニ關スル事項
  - 三 試験種類及科目ノ捺印ニ關スル事項
  - 四 番號記入簿ノ作成及番號記入ニ關スル事項
  - 五 番號記入紙ノ角ヲ折リ糊付及捺印等ニ關スル事項
  - 六 試験答案ノ糊付及校閱送附ニ關スル事項
  - 七 入場券検査票簿ニ關スル事項
  - 八 點數ノ計算番號記入紙ノ開封ニ關スル事項
- 丙 分場股ノ職務左ノ如シ
- 一 試験場ニ關スル事項
  - 二 座席番號ノ貼付ニ關スル事項
  - 三 試験問題調製及校正印刷ニ關スル事項

- 四 寫眞對照及點呼並ニ答案配附等ニ關スル事項
- 五 答案ノ受取貼紙ノ揭示等ニ關スル事項
- 六 選擇試験カドノ編成配附整理ニ關スル事項

第八條

庶務組ニ庶務會計ニ股ヲ置ク

甲 會計股ノ職務左ノ如シ

- 一 概算計算ノ編成ニ關スル事項
  - 二 庶務經費ノ出納ニ關スル事項
  - 三 試験各項收入金ノ保管ニ關スル事項
- 乙 庶務股ノ一切ノ修繕ニ關スル事項
- 一 本處ノ一切ノ修繕ニ關スル事項
  - 二 試験使用ノ一切ノ物品ノ購買ニ關スル事項
  - 三 試験場ノ配置並ニ検査ニ關スル事項
  - 四 試験委員監督委員補佐委員ノ接待及其ノ他供應ニ關スル事項

五 警衛及人夫ノ管理ニ關スル事項

六 其ノ他各組各股ニ屬セル事項

第九條 本處職員ハ事務及未發表ノ文書ニ關シテハ秘密ヲ嚴守シ漏洩スベカラズ

第十條 本處ノ管理文書、會計及服務狀態各項手續ハ官吏服務規則及

行政委員會各項通則ニ依リ處理スベシ

第十一條 本處ノ庶務會議規則ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條 本細則ハ申請シ許可セラレタル日ヨリ之ヲ施行ス不備ノ點アルトキハ庶務會議ノ議決ヲ經テ申請シ許可ヲ受ケテ之ヲ修正スルコトヲ得



二十九年高等文官考試監試規則

(民國二十九年五月二十九日國民政府ニ呈出シ指令ヲ受ケ登錄ス)

第二條 高等文官試驗ノ監試(試驗監督ト譯者註)委員ハ政府ニ於テ簡任法官中ヨリ撰拔派遣ス

第二條 試驗委員長ハ試驗委員會人員名簿ヲ作成シ監試委員ニ交附ス

第三條 左記各事項ハ監試委員ノ監試中ニ之ヲ爲スベシ

- 一 番號姓名簿ノ封印管理
- 二 試驗問題ノ印刷、封印、保存及分配
- 三 試驗答案ノ點收(點檢シテ受取ルコト)及封送
- 四 番號姓名簿ノ開封及番號トノ照合
- 五 受験者ノ總成績審査
- 六 合格人員ノ發表及公布

第四條 監視中試験官ト結託不正ヲナシ答案ヲ改竄シ又ハ其ノ他不正

事情ヲ發見シタルトキハ罪狀ヲ調査ノ上之ヲ強効スルコトヲ得

第五條 試験終了後監試委員ハ監試ノ經過狀況ヲ政府ニ報告スベシ

第六條 本規則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二十九年高等文官考試試閱卷規則

(民國二十九年五月二十九日國民政府ニ呈出シ指令ヲ受ケ登錄ス)

第二條 試驗委員會ノ試験登案ノ採點ハ別ニ規定スルノ外ハ本規則ニ依リ之ヲ行フ

第二條 各一科目ノ試験答案ハ委員二人以上ニテ檢閱シ試験問題發表後採點標準ヲ議定シ再度分閱ヲ行フベシ



第三條 答案採點期限及毎日ノ答案採點時間ハ試験委員會之ヲ決定ス  
當日採點未終了ノ答案ハ採點委員自ラ封印捺印シ試務處ニ交附シ  
主管人員之ヲ保管ス

第四條 試験答案ノ採點ハ採點委員各自責任ヲ以テ點數ヲ考慮決定シ  
必要アルトキハ他ノ採點委員ノ意見ヲ徵スル以外、他人ハ之ニ關  
與スルコトヲ得ズ

第五條 試験答案ノ採點ニハ墨筆ヲ使用ス試験委員長ノ再閱又ハ抽閱  
(引抜イテ校閱スル)ニハ朱筆ヲ使用ス

第六條 答案上ノ點數記入ハ吾國ノ常用數字ヲ用フ  
點數記入後増減ノ必要アルトキハ其趣旨ヲ明確ニ記入シ自己ノ印  
ヲ押スベシ原點數ヲ消シ改ムベカラズ

第七條 試験答案ノ採點數中左記事情アルコトヲ知りタルトキハ試験  
委員長ニ報告スベシ

- 一 文章内容ニ不純正ナル思想アルモノ
  - 二 受験者ガ試験答案紙ニ署名捺印セルモノ
  - 三 試験答案ニ試験係ト通譯セル嫌疑アルモノ
  - 四 其ノ他嫌疑アルヲ認めタルモノ
- 第八條 初閱再閱ノ完了セル試験答案ニシテ試務處主管人員ノ點檢收  
受シタル後ハ試験委員再ビ調査スルコトヲ得ズ
- 第九條 試験ニ參加シタル者及事務ヲ處理セル者ハ試験答案ノ内容及採  
點ノ狀況ニ關シ秘密ヲ嚴守シ外ニ對シ漏洩スベカラズ
- 第十條 本規則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



銓敘部考勤暫行辦法（民國廿九年六月二日公布施行）

- 第一條 本部部員ハ出張又ハ休暇受許可者ヲ除クノ外ハ法定ノ時間ニ出勤簿ニ署名シ遅刻並ニ代人ヲシテ署名捺印セシムベカラズ
- 第二條 毎日出勤シタル後ハ各該主管長官ノ分配セル職務ニ忠實ニ服務シ或ハ職務ノ範圍内ニ於テ自ラ努力シテ事務ヲトリ中絶或ハ早引スベカラズ
- 第三條 毎日本部ニ出勤後ハ自ラ報告表ヲ作製シ主管長官ニ送附シ統括ヲ受クベシ
- 第四條 事故又ハ病氣ニ依リ出勤不能ナルトキ或ハ出勤後退出セントスルトキハ直ニ出勤簿ヲ印出ツベク濫リニ職場ヲ離ルベカラズ
- 第五條 各部員ノ勤惰狀況ハ各處司ニ於テ該主管長官隨時詳細ニ調査シ每週一回表ニ列記シ次長部長ニ報告スベシ
- 第六條 毎月月末ニ秘書處ニ於テ各該主管長官ノ調査報告ニ依リ統括表ヲ作成シ次長部長ニ送附シ統括ヲ受クベシ
- 第七條 本部ニ於テ前ニ規定セル處務規程第七章及職員缺勤規則勤務規則等本辦法ニ抵觸セザルモノハ總テ之ヲ適用ス
- 第八條 本辦法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十五年八月  
華中連絡部調査機關調査速報第三十二號

警政公報抄（邦譯） 民國二十九年六月二十一日第五號

興亞院華中連絡部

はしがつさ

- 一、本報の名稱を華中連絡部調査機關調査速報と稱す
- 一、本速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、湖北省の各省公報及南京、上海兩特別市公報の邦譯を掲載す
- 一、本速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を轉載する方針なるも特に速報するの價值尠少と認めらるるもの（例へば各官廳の處務規程の如きもの）は翻譯を省略し單に其の表題を掲載するに止めた又訓令以下は重要なるもののみを摘録することにした
- 一、本速報は元來調査報告シアリーズとして編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認めらるる爲速報とすることにした
- 一、本速報は華中連絡部調査機關政務第一調査室の翻譯、編輯に係るものである

興亞院華中連絡部調査機關



修正所得稅暫行條例施行細則

第一條 本細則ハ所得稅暫行條例（以下單ニ暫行條例ト稱ス）第二十

一條ノ規定ニ依リ之ヲ制定ス

第二條 中華民國內ニ駐在スル各國外交官ノ所得ニ對シテハ徵稅ヲ免ズ

第三條 外國人中華民國內ニ一年未滿居住シ其ノ所得中華民國外ヨリ取得スルトキハ其ノ徵稅ヲ免ズルモノトス

第四條 前二條ノ規定ハ中華民國ニ對シテ同一ノ待遇ヲ爲ス諸外國國民ニ限リ之ヲ適用ス

第五條 營利事業ニシテ本店ハ中華民國外ニ在リ分支店又ハ營業所ノ國內ニ設置セルモノ或ハ分支店營業所ヲ外國ニ設置シ本店ヲ國內ニ有セルモノハ其ノ資本金分割ノ如何ニ關セズ其ノ中華民國國內ニ於ケル營業利益ノ部分ニ就キ其ノ所得額ヲ計算シメ暫行條例第四

條ノ稅率ヲ準用シテ課稅ス

第六條 本店及其ノ分支店營業所ガ共ニ中華民國內ニアリ其ノ資本金相互ニ分割セラレタルモノハ分割額ニ應ジテ其ノ所得額ヲ計算ス

第七條 資本ト稱スルハ會社組織ノ實際拂込濟株金又ハ其ノ他ノ組織ノ投下資本ヲ謂フ法定積立金ハ其ノ總額ニヨリ三分ノ一ヲ資本ニ併入シテ計算スルコトヲ得

第八條 第一類甲乙兩項ノ營利事業ノ所得ハ各業者ノ習慣ニ依リ毎年一回決算シ其ノ一年未滿ノモノハ其ノ營業期間ノ所得ニ就キ計算シ課稅ス

第九條 營業年度變更セルトキハ新舊年度交替期間ノ所得ニ依リ計算シ課稅ス



第十條 第二類所得ニシテ週ヲ以テ計算スルモノハ毎月四週間トシテ計算シ課税ス

第十一條 第二類所得ノ月ヲ以テ計算スルモノニシテ一月ニ滿タザルトキハ其ノ所得ノ實數ニ以テ計算シ課税ス但シ所得實數四十元ニ滿タザルトキハ免稅スルコトヲ得

第十二條 本業務ト關係ナキ物品證券又ハ金銀貨幣ノ賣買ニシテ其ノ所得ガ本業務ノ收入項目ノ計算ニ入ラザルモノハ臨時的營利事業トシテ論ズ

非營業人ニシテ前項ノ賣買ヲ爲シ約定ノ期日ニ於テ現物ノ引渡ヲ爲サザル者モ亦同ジ

第十三條 非營利事業ノ法人又ハ團體ニシテ營利事業ヲ兼營セルトキハ營利事業ト看做ス

第十四條 法定貯蓄金ト稱スルハ政府法令ノ規定ノ貯金ヲ以テ限リト

爲ス

第十五條 第一類所得ヲ計算セントスルトキハ其ノ收入總額ヨリ營業期間ノ實際經費貸倒金、缺損準備金、消耗性公課金及法令ニ規定セル法定積立金ヲ除外シタル殘額ニ對シ暫行條例第三條規定ノ稅率ニ依リ課税ス

第十六條 左記各項收入ハ第二類手當報酬所得トス

- 一 公務員ノ俸給、給金、年金、賞與金、退職金、養老金及其ノ他職務上所得ノ給與金
- 二 自由職業者其ノ他各業ニ從事スル者ノ職業及工作上受ケタル俸給年金報酬及其ノ他給與セラレタル金錢

第十七條 自由職業者及其ノ他各業ニ從事スル者ノ所得ハ左記各項經費ヲ控除セル殘額ヲ以テ所得額トス

- 一 事務所ノ家賃

- 二 業務上ノ使用人ノ俸給報酬
- 三 業務上必要ナル交通費
- 四 其ノ他業務上直接ニ必要ナル費用

業務人ガ其ノ居所ヲ以テ營業所ト爲ストキハ其ノ家賃ハ按分シテ控除ス但シ家賃ハ總額ノ百分ノ六十ヲ超過スルコトヲ得ズ本條第一項第三款ノ交通費ハソレニ依テ報酬ヲ受クル者ニ限ル但シ各個ノ報酬額ノ百分ノ三十ヲ超過スルコトヲ得ズ

第十八條 自由職業者及其ノ他各業ニ從事スル者ニシテ二個以上ノ業務所ヲ有シ各獨立ノ帳簿ヲ備フル者ハ各別ニ其ノ所得額ヲ計算スルモノトス

第十九條 本細則第十二條規定ノ營利事業ハ各個ノ取引決算ノトキニ於テ其ノ所得額ヲ計算ス

第二十條 所得税代收納者（註一原文「扣繳所得稅者」即チ他人ノ所

得額ヨリ其ノ稅額ヲ差引キ代納スルモノヲ謂フ）或ハ所得稅ヲ自ラ納入スル者ハ暫行條例第八條乃至第十二條規定ノ期間内ニ該地主管徵收機關ニ對シ所得額ヲ申告スベシ

第二十一條 行爲能力無キ者及行爲能力ヲ制限セラレタル者ノ所得額ハ其ノ法定代理人前條ノ規定ニ依リ代理シテ申告ヲ爲スベシ

第二十二條 第一類甲乙兩項ノ營利事業ニシテ合併、解散、休業、清算時ニ於テ決算後尙所得アルトキハ決算ノ日ヨリ二十日以内ニ該地徵收機關ニ對シ其ノ所得額ヲ申告スベシ  
破産ノ宣告ヲ受ケ清算シタル後尙所得アルトキハ破産管理人ハ前項ノ規定ニ依リ其ノ所得額ヲ申告スベシ

第二十三條 營業年度變更セルトキハ業務執行ノ責任者ハ本細則第九條ノ規定ニ依リ決算ノ日ヨリ二十日以内ニ其ノ所得額ヲ申告スベシ



第二十四條 第一類所得ノ申告者ハ申告ニ當リテ財産目錄、損益計算書、資産負債表又ハ其ノ他所得額ヲ證明スルニ足ル帳簿、證書類ヲ提出スベシ

第二十五條 所得税ハ財政部ノ主管徴收機關ヨリ國家銀行又ハ郵便貯金爲替局ニ委託シテ之ヲ徴收セシム上記機關ノ設置ナキ所ニ在リテハ其ノ他銀行商店又ハ處、所ヲシテ代理收納セシムルコトヲ得但シ主管徴收機關ガ設置セラレザル以前ニ於テハ其ノ徴收機關ハ暫時首都ニ於テハ財政部、各省ニ於テハ省財政廳トス

第二十六條 各類ノ所得税ノ納稅期限ハ左記ノ規定ニ依ル

- 一 第一類甲乙兩項ノ納稅期限ハ各業ノ毎年ノ決算期ニ依リ毎年三月一日ヨリ五月末日迄又ハ八月一日ヨリ十月末日ニ至ル間
- 二 二回之ヲ納入ス丙項ノ所得税ハ決算申告ノトキニ納入ス
- 三 第二類所得税ハ毎月之ヲ納入ス

三、第三類所得税ハ利息ヲ決算シ申告時ニ於テ之ヲ納入ス

第一類丙項、第二類ノ本人納入スベキ所得税及本細則第二十二條第一項第二項第二十三條ニ依リ納入スベキ所得税ハ決算申告ノ日ヨリ二十日以内ニ納入スベシ

第二十七條 所得税納入方法左ノ如シ

- 一 第一類甲乙兩項ニ屬スル者ハ業務責任者ガ自ラ納入スベシ
- 二 第一類丙項ニ屬シ支拂機關アルトキハ該機關ノ業務責任者ガ代理納入ス支拂機關ナキトキハ納稅義務者又ハ其ノ代理人ガ自ラ納入スベシ
- 三 第二類ニ屬スルモノハ俸給報酬支給機關ノ長官又ハ雇主ガ代理納入スベシ支給機關又ハ雇主無キ者ハ自ラ納入スベシ
- 四 第三類ニ屬スルモノハ利息支拂機關業務責任者代理納入スベシ

第二十八條 所得稅代收納者ハ税金納入ノ時必ず納稅義務ヲ有スル者ニ通知シ税金ヲ該地税金徵收機關ニ納ムスベシ  
前項ノ所得稅代收納者ハ無記名證券利息及預金利息ノ支拂ヲ特種表式ヲ以テ申告スルノ外各納稅義務者ノ所得額ヲ該地主管徵收機關ニ申告スベシ

第二十九條 税金收納機關ガ前條ノ代納セラレタル税金ヲ收納シタルトキハ主管徵收機關ノ規定スル正式ノ領收證ヲ發行スベシ

第三十條 所得稅代收納者ニシテ能ク法定ノ手續ニ依リ期限内ニ其ノ代納セルトキハ該地主管徵收機關ハ其ノ代納總額ノ千分ノ五ノ獎勵金ヲ與フルコトヲ得前項ノ獎勵金ハ政府機關ニハ之ヲ適用セズ

第三十一條 所得稅納入者ハ主管徵收機關決定ノ所得稅額ノ通知書ヲ受取りタル後各々納稅期間内ニ税金徵收機關ニ所得稅ヲ納入スベシ

前項ノ納稅者ハ税金收納機關ニ於テ主管徵收機關規定ノ領收證ヲ受取ルベシ

第三十二條 財政部管轄主管徵收機關ハ各類所得者ノ納稅額通知書ヲ制定シ各地徵收機關ニ交附シ暫行條例第十四條ノ規定ニ依リ納稅者ニ通知スベシ

第三十三條 主管徵收機關ハ申告ニ依リ十五日以内ニ其ノ所得稅額ヲ決定スベシ申告者ガ再調査ヲ請求セルトキハ請求アリタル日ヨリ十日以内ニ再調査ヲ行ヒ其ノ稅額ヲ決定スベシ

第三十四條 主管徵收機關申告者ノ申告ニ虛偽アリト認メタルトキハ期限ヲ指定ノ上申告者ニ對シ納稅額關係證明書類ノ提示ヲ要求スルコトヲ得

申告者前項ノ要求ニ對シ履行ヲ怠リタルトキハ主管徵收機關ハ調査又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ直ニ其ノ所得額及納稅額ヲ決定シ之ヲ



通知スルモノトス

申告者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ納税期間内ニ納税スベシ

第三十五條 徵收主管機關代納ノ税額ニ不足ヲ發見シタルトキハ所得  
税代納者ノ責任ニ於テ之ヲ完納セシムベシ

第三十六條 納税義務者ガ代納入所得税ニ減除サルベキモノアルヲ認  
メタルトキハ徵收主管機關ニ對シ税金ノ拂戻シヲ願出ヅルコトヲ  
得

第三十七條 財政部管轄徵收主管機關ハ各類所得額申告表ヲ作成シ各  
地徵收機關ニ交附ノ上申告者ニ自ラ全部ヲ記入セシムベシ  
前項ノ申告表ハ各地徵收機關ヨリ該地ノ行政機關、商會、同業公  
會、郵政局又ハ税金收納機關ニ保存ヲ委託シ申告者ノ受領ニ供ス  
ルコトヲ得同時ニ公告又ハ之ヲ揭示スベシ

第三十八條 各類所得額ノ申告表ハ如何ナル費用モ附加徵收スルコト

ヲ得ズ

第三十九條 主管徵收機關ハ各類所得者名簿ヲ設ケ申告表及所得決定  
通知書ノ内容ニ依リ納税者ノ姓名、住所、職業、所得額、決定納  
税額、及其ノ他記載事項ヲ區別シテ之ニ記載スベシ

第四十條 所得税額ノ決定通知書ニハ所得ノ種類、番號ヲ付シテ記帳  
スベシ

第四十一條 所得税代納者、所得税納入者、所得税代納者ハ調査、  
再調査ニ對シ審査員ガ證書類ノ提示ヲ要求シタル時ハ之ヲ拒絕ス  
ルコトヲ得ズ

第四十二條 申告者ニシテ明ラカニ虛偽ナル所得額ヲ故意ニ申告シタ  
ル者ハ暫行條例第十九條ノ罰金又ハ處罰スルノ外其ノ刑法ノ文書  
偽造罪ニ抵觸セルモノハ主管徵收機關及法院ニ報告シ法ニ依テ處  
分セシムベシ

第四十三條 所得稅徵收機關員ハ納稅者ノ所得額納稅額及其ノ證明ニ關係アル書類ニ對シ絶對ニ秘密ヲ守ルベシ違反者ハ主管長官ノ事實調査或ハ被害者ノ告發ニ依リ事實調査ヲ經タル後主管長官ハ解職或ハ其ノ他ノ懲戒處分ニ附スベシ刑法ニ觸犯セル者ハ法院ニ報告シ法ニ依ツテ處罰スベシ

第四十四條 主管機關ガ暫行條例第十八條第十九條第二十款各項ノ規定ニ依リ被處罰者ニ處分督ヲ送附シ納入セル罰金ニ對シテハ領收證ヲ下附スベシ前項ノ處分督及領收證ニハ處罰機關ノ官印ヲ捺シ及責任者ハ署名捺印ヲ爲スベシ

第四十五條 株式會社又ハ株式合資會社株式ヲ發行セントスルトキハ發行株券ノ總額、株券ノ種類一株ノ金額營業年度ヲ該地主管徵收機關ニ報告スベシ發行濟株券ニ付テハ各該會社ハ本細則施行ノ日ヨリ一月以内ニ前項ノ報告事項ヲ主管徵收機關ニ對シ報告スベシ

第四十六條 會社商店運漕問屋工廠及營利事業ヲ營ム者ハ本細則施行

ノ日ヨリ一月以内ニ姓名、住所、營業資本又ハ拂込資本實額ヲ主管徵收機關ニ對シ報告スベシ

第四十七條 本細則規定ノ各種營類、表、帳簿、契約書ノ様式ハ財政部之ヲ制定ス

第四十八條 本細則不備ノ點アルトキハ隨時行政院ニ申請シテ之ヲ改正スルコトヲ得

第四十九條 本細則ハ民國二十五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

警察制服條例 (警政部令 民國二十九年六月十日公布)

第一條 警察官吏制服ハ本條例ノ規定ニ依ル

第二條 服地ハ綿織物又ハ毛織物トス夏季用ハ黃色又ハ白色春秋冬季用ハ黑色トス

第三條 帽子ハ下記各項ニ依リ附圖ノ如ク之ヲ製作ス



- 一 帽子ハ軍帽式ニシテ前高ク後低シ帽底ハ十八糎後方ノ縁ノ高サハ五糎ニ耗色ハ衣服ト同シ
  - 二 帽子ノ徽章ハ中心ニ青天白日ヲ嵌メ外側ニ赤色ノ輪ヲ加フ其ノ直徑二糎五耗廻リハ嘉禾(大ナル稻)ヲ以テ連綴シ上面ノ全面積ハ縦徑七糎横徑六糎五耗形式ハ橢圓形トシ警官ハ金色絲ヲ用ヒ長警ハ銅質糸ヲ用ヒテ縫取リス
  - 三 帽章ハ警官ハ黒絲ノ打紐ヲ以テ稻穂ヲ浮織ニシ帽ハ帽子ノ縁ト等シクス長警ハ本色ヲ用フ
  - 四 帽子紐ハ官警共ニ幅一糎ノ黒革ニテ製作シ帽子紐ノ兩側ニハ各黃銅ノ釦一個ヲ取附ク
  - 五 帽底ハ官警共ニ漆ヲ用ヒテ製作シ表ハ黒裏ハ緑トス
- 衣服ハ下記各項ニ依リ製作ス其ノ様式附圖ノ如シ
- 製作ノ方式ハ中山服式(折襟式詰襟)トシ襟ハ學生服式ニシテ長サハ親指ノ上端ニ至ル

第四條

- 一 肩章ハ長方形二枚ニシテ兩肩ノ上ニ付ケ各肩帶一條ヲ縫付ケ幅四糎長サ十一糎トス肩帶ノ上端ニ各銅釦一個ヲ取付ク肩章ノ上面ニハ警官ハ左右ニ何レモ地名或ハ機關名稱ヲ付ス長警ハ左ニ地名右ニ機關名稱ヲ附ス
- 「例一」警政部ノ警官ハ左右ニ各「警部」ノ二字ヲ附ス首都警察廳警官ハ左右ニ各「首都」ノ二字ヲ附ス上海警察局警官ハ左右ニ各「滬市」ノ二字ヲ附ス
- 「例二」首都警察廳ノ東區警察局ノ長警ハ左ニ「首都」ト附ケ右ニ「東區」ト附ク
- 三 袖章尖長方形二枚ニシテ専ラ警官之ヲ佩用ス位置ハ袖口ヨリ六糎ノ所トシ直徑八糎兩邊ノ長サ六糎下方ノ幅三糎トス上ノ隅ニ圓形ノ梅花模様ノ銅釦一個ヲ取附ク其ノ直徑ハ一糎五耗トス外側ハ金一筋ヲ縁ドリ其ノ幅ハ二耗トス部長ハ金縁金地ニ金ノ稻模樣ヲ附ス次長ハ金縁銀地ニ金ノ稻穂模樣ヲ附ス

簡任官（勅任）ハ金縁金地、薦任官（奏任）ハ金縁銀地、兼任官（判任）ハ金縁白絲織ノ羅紗地トス

四 釦ハ襟筋ニ五個取附ク直徑二糎ノ圓形凸出シタルモノトシ釦官ハ黃銅質長簪ハ略嚙米質ニシテ其ノ樣式附圖ノ如シ

第五條 スポシハ中山服式ヲ用ヒ各隊隊長及長官ガ半禱ヲ穿キザトルヲ使用スル外ハ番官ハ長禱ヲ穿キ禱ノ兩側ニ各ホケツト一個ヲ設ケ後ノ方ヲ稍長クシ下綴ハシシタトシザトルヲ卷カズ長簪

ハ夏季半禱ヲ穿キザトルヲ卷クコトヲ得其ノ樣式附圖ノ如シ第六條 女警ハスカトトヲ用フスカトトハ黑色ニシテ長サハ膝下十二

糎迄トス上衣及肩章襟章腕章ハ警長警士ト同ジク附圖ノ如シ第七條 外套ハ折襟ニシテ黒藍色トシ裏ハ布又ハ羅紗ヲ用ヒテ製作ス

襟ハ黒絲ノ毛織物ヲ用ヒテ製作シ長サハ地上ヨリ二十四糎ニ達スル迄トス釦（制服釦ト同ジ）ハ各六個ヲ二列ニ並置ス番官ハ黃銅質長簪ハ白色銅製トス腰部ノ兩側ニ各ホケツト一個ヲ設ケ袖口ハ

折返シニテ其ノ長サ十二糎トス腰部ノ後方ニ横帶一條ヲ設ケ帶ノ幅ハ五糎ニシテ腰部後方ノ三分ノ二ノ長サトス帶ノ兩側ニ各釦一個ヲ附ク裾ハ切開ク番官ハ襟章警長警士ハ腕章ヲ附ク其ノ樣式附圖ノ如シ

第八條 靴ノ高サハ踝ノ所迄トシ革質黑色トス番官用ハ靴口ニハ左右ニ伸縮布ヲ附シ長簪用ハ上ヲ開キ帶部ニ於テ緊造ス其ノ樣式附圖ノ如シ

第九條 襟章ハ襟ノ兩端ニ附ケ四角形ニシテ前後同形ニシテ長サ七糎幅四糎五糎ニテ外邊ヲ金筋一本テ縁取ル其ノ幅四糎トス部長ハ金縁金地ニ金ノ稻模樣次長ハ金縁銀地ニ金ノ稻模樣簡任官ハ金地ノ

上ニ三角ノ一糎五耗直徑ノ紅星ヲ一二級ハ三個三乃至五級ハ二個六乃至八級ハ一個ヲ取附ク薦任官ハ銀地ノ上ニ三角ノ一糎五耗直徑ノ金星ヲ一乃至三級ハ三個四乃至七級ハ二個八乃至十二級ハ一個ヲ取附ク簡任官薦任官ハ左右ノ兩上隅ニ長方形ノ白布一枚ヲ附

ノ如シ

ノ如シ

ノ如シ

ノ如シ

ノ如シ

ノ如シ



ス幅三種長サ一種五耗ト委任官ハ白布地ノ上ニ三角ノ直徑一耗五耗ノ藍色ノ星ヲ一乃至四級ハ三個五乃至九級ハ二個十乃至十六級ハ一個ヲ取附ク左右兩上隅ニハ白布ヲ加ヘ事務員服務員ハ一律ニ最低級ノ藍色ノ星ヲ用フ長警ノ襟章ハ長方形ニシテ左右相同シク外端ハ兩隅ヲ切り取り長サ七糎幅三種五耗ノ白色ノ木製トス警長ハ左ニ銅質ニテ番號ニシテ附シ右ニ銅質ニテ番號ヲ附ス警士ハ左右共ニ銅質ニテ番號ヲ附ス其ノ様式附圖ノ如シ

第十條 腕章ハ警長警士專ラ佩用シ綿製トス白色ニシテ七十度ノ角度ヲ有シ幅一種二耗トス一等警長ハ三本ニシテ其ノ筋ノ上ニ三角形ノ直徑一種ノ銀色ノ星三個ヲ附ス二等警長ハ二筋ニシテ銀色ノ星二個ヲ附ス三等警長ハ一筋ニシテ銀色ノ星一個ヲ附ス一等警士ハ三筋二等警士ハ二筋三等警士ハ一筋トシ星ヲ附セス其ノ様式附圖ノ如シ

第十一條 武裝帶ハ警官佩用ノモノハ革質褐色ノモノヲ用フ下部ハ腰

部ヲ圍繞シ幅五糎長サハ八十四糎乃至一百四十糎トス帶ノ留金ハ銅質金メツキノモノヲ用ヒ圓形トシ兩側ニ嘉禾(大イナル稻穂)ヲ刻ミ中ニ警ノ字ヲ浮彫リトス帶ノ尾端ニ各列五個乃至七個ノ孔ニ列ヲ鑿ツ銅ノ留金ヨリ約三分ノ一離レタル處ニ佩劍帶二條ヲ附ク長サ十八糎乃至四十八糎トシ上下不同トス端ニ銅質ノ環鉤(輪金)ヲ附ク上端ノ輪金ハ腰部ヲ圍ム帶ニ連ル下端ノ輪金ハ佩劍ノ上部ニ連ル斜ニ佩用シ右肩ハ分レテ長短ニ帶トナル幅二糎ニシテ長サハ長帶五十四糎乃至七十八糎短帶ハ十八糎乃至二十四糎トシ兩帶等シカラズ銅ノ留金ヲ以テ胸部ニ於テ輪金ト繋グ帶ノ兩端ニハ銅質ノ輪金ヲ附ク輪金ハ腰部ヲ圍ム帶ニ連ル其ノ様式附圖ノ如シ

第十二條 短劍ハ警官ノ佩用スルモノニシテ劍ノ柄劍盤共ニ銅質鍍金ヲ用フ劍柄ノ表面ニハ鍍金ヲ施シ稻二本ヲ彫ル束ハ白魚皮ヲ用ヒ鍍金三條及六本ノ絲ヲ卷キテ包ム柄ノ長サハ十一糎五耗劍盤ノ横

ノ長サ九糎八耗幅一糎六耗トス劍鞘ハ白銅製ヲ用フ鞘口及端ハ各  
銅地ニ鍍金箍一ト本ヲ以テ包ム鞘口ハ三糎二耗鞘口ノ箍ノ長サ六糎  
鞘端ノ箍ノ長サ五糎トス箍ノ表面ハ上部ニ中國ノ徽章ヲ彫リ下部  
ニ稻二本ヲ彫ル鞘口ノ表面ニハ金環ヲ嵌ム環ノ長サハ二糎高サハ  
五耗トス鞘ノ長サ三十三糎五耗ニシテ全長四十五糎ナリ其ノ様式  
附圖ノ如シ

第十三條 腰帶ハ警長警士之ヲ使用スルモノトス褐色革質ニテ幅六糎  
長サ四十四糎乃至一百四十糎トス先端ノ留金ハ銅質ヲ用ヒ四角形  
ニシテ中ニ警ノ字ヲ浮彫リス末端ニ孔七個ヲ鑿ツ其ノ様式附圖ノ  
如シ

第十四條 警察隊長ハ革製黑色警長警士ハ布製深草綠色ゲートルヲ使  
用シ其ノ他ノ警官ハゲートルヲ使用セズ

第十五條 手袋ハ白色布製ヲ使用シ冬ハ黑色トス

第十六條 特種警察官吏ノ制服ハ本條例ノ規定ヲ準用ス

第十七條 各地警察機關ノ季節交替時期ハ各該地最高長官之ヲ規定ス  
第十八條 氣候酷熱又ハ嚴寒時ニ於テハ其ノ帽式ヲ省略シ各該地方最  
高長官斟酌ノ上製定スルコトヲ得但シ警政部ニ許可ヲ申請ノ上記  
録スベシ

第十九條 本條例公布後其ノ施行期日ハ警政部之ヲ定ム  
(警察制服圖式ハ之ヲ省略ス)



警士採用暫行辦法 (警政部令 民國二十九年六月八日公布施行)

第一條 警士ノ採用ノ資格ハ警士教練所卒業證明書ヲ有スル者ニシテ  
本辦法ノ規定ニ合致スル者ニ限ル但シ有資格者不足セル地方ニ於  
テハ暫時本辦法ニ依リ之ヲ試験ノ上採用スルコトヲ得

第二條 警士ハ左記各項ノ資格ヲ具備スル者ヨリ之ヲ考査選擇ス

- 一 年齢二十歳以上三十歳以下ノ者
- 二 高等小學校卒業程度或ハ其レニ相當スル者
- 三 身長五尺三寸以上ノ者
- 四 身體強健ナル者
- 五 儀容端正言語明瞭ナル者
- 六 聽力視力ノ銳敏ナル者
- 七 地方ノ狀況ヲ知悉スル者
- 八 志願書ヲ差出シ警士ヲ志願シ且確實ナル保證アル者

第三條 前項ノ各項ニ合致スルモ左記各項ノ一ニ該當スル者ハ採用ス  
ルコトヲ得ズ

- 一 品行不良ナル者又ハ以前ニ徒刑ノ宣告ヲ受ケタル者
- 二 曾ツテ破産處分ヲ受ケ債務ノ未ダ清算セラレザル者
- 三 持病又ハ特殊ノ嗜好ニ感染セル者 (阿片吸食者)
- 四 性質兇暴又ハ法備ナル者

第四條 考査試験ハ體格檢査筆記試験口答試問ノ三種ニ分チ採用ノ時  
ニ之ヲ行フ

第五條 警察廳 (局) (所) 所屬ノ警察機關ノ警士ノ採用試験ハ警察  
廳 (局) (所) ニ於テ行ヒ受験セシムベシ

第六條 受験ハ結果合格採用セラレタル警士ハ勤務前ニ志願書及保證  
書ヲ取揃ヘ提出ノ上記録ニ止ムベシ

第七條 正當ノ事由ニ依リ離職シタル警士ニシテ四十歳以下ノ者ニシ  
テ原服務所在地ノ警察機關ニ登記セルトキハ追テ選抜採用スルコ

トアルベシ但シ第三條所載各項ノ事情ナキ者ニ限ル  
第八條 前條ノ登記シタル警士ハ選拔合格後之ヲ優先採用スベシ  
第九條 本辦法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(警士志願書及身元保證書ノ様式ハ之ヲ省略ス)

警政部職員宿舍規則 (警政部令 民國二十九年六月八日公布施行)

- 第一條 本部ハ職員寄宿ノ便ヲ謀ル爲職員宿舍ヲ一個所設ク凡テ職員ノ寄宿ハ本規則ニ依リ之ヲ辦理ス
- 第二條 本宿舍ノ家屋數ハ少キヲ以テ本部ノ職員ヲ完全ニ收容スルハ不可能ナルニ付茲ニ二等科員以下ノ職員ニシテ家庭ヲ持タザル者ハ寄宿ヲ出願シ得ルモノト規定ス
- 第三條 寄宿職員ハ親戚友人或ハ其ノ他外部ノ者ヲ止宿セシムルコトヲ得ズ
- 第四條 本宿舍ハ登記定員ニ應ジテ分配シ數人ヲ一室ニ合住セシム各室ノ人數ノ多寡ハ該室ノ大小ヲ以テ定ム其ノ寢台ノ位置モ順次ニ之ヲ定メ許可ナクシテ任意ニ變更スルコトヲ得ズ
- 第五條 寄宿職員ニシテ宿舍ヲ必要トセザルニ至リタルトキハ總務司



第三科ニ通知シ登記スベシ

第六條 宿舍ノ内外ハ務メテ清潔ヲ保持シ以テ公共衛生ヲ重ンズベシ

第七條 宿舍ノ電燈ハ毎日午后十二時ニ消燈スルモノト規定ス

第八條 消燈後ハ再ビ蠟燭ヲ使用點火スルコトヲ得ズ

第九條 各室ノ電球ヲ任意ニ弱光或ハ弱光ノモノト換フルコトヲ得ズ

又公物ノ取扱ハ慎重ニシ破損スベカラズ

第十條 宿舍内ニ於テ任意ニ電器（扇風器、電氣ストーブ、ラジオ等）ヲ設備スルコトヲ得ズ

第十一條 宿舍内ニ於テ食物ヲ煮焼シ或ハ飲酒賭博等ヲ爲スコトヲ得ズ

第十二條 毎日消燈後ハ他人ノ安眠ヲ妨害セザル様ニテスベシ高聲ニテ談笑又ハ放歌スルコトヲ禁止ス

第十三條 宿舍内ノ各般事務ハ總務司第三科指定ノ職員一名責任ヲ以テ管理スベシ

第十四條 宿舍内ニ於テ專屬勤務ノ給仕ヲ置キ寄宿職員ノ使用竝ニ宿

舎内外ノ掃除及其ノ他ノ雜務ヲ行ハシム

第十五條 凡ソ一切ノ傳染病者ハ宿舍内ニ居住スルコトヲ得ズ若シ臨時ニ發病シタル者ハ即時隔離スベシ

第十六條 本規則ハ許可ノ日ヨリ之ヲ施行ス不備ノ事項ハ隨時申請シテ之ヲ修正スルコトヲ得